

自転車を取り巻く利用環境観察 連載 ②

「一時停止しない危険性」

自転車安全利用研究会 谷田貝一男

信号機がない
交差点で、自転
車・バイク・歩
行者が互いに一
時停止しなかつ
たため、事故に
は至らなかつた
ものの、衝突が
起きる寸前で
あったという状
況（いわゆるヒ
ヤリハット）を
紹介します。

(1) バイクとのヒヤリハット

写真1は手前から正面方向に続く道
路が交差点で約3m右横にずれている
十字路交差点です。この交差点をバイ
クが右側通行しながら正面方向に直
進、幼児を乗せた自転車が右の道路か
ら左折、その瞬間に衝突寸前でした。
バイクがハンドルを左に向けながら急
ブレーキをかけたことで事故には至り
ませんが、自転車もバイクも一



写真1 十字路交差点、左折の自転車と右側通行のバイクのケース。ともに一時停止を怠る

時停止を
怠つていま
した。
**(2) 自転
車とのヒヤ
リハット**
写真2は
終日自転



写真2 一時停止標識等を無視して直進する自転車。左右から進入する自転車の合間を横断

車・自動
車・歩行者
の通行量が
多い商店街
の中の十字
路交差点で
す。正面に
向かって交
差点を横断
している自

転車は、一時停止の標識と路面標示を
無視して、左右の道路から接近する2
台の自転車の合間を縫って横断してい
ます。1秒ほどの出来事です。

(3) 歩行者とのヒヤリハット



写真3 交差点直前で一時停止しない自転車。横断直前の歩行者を認識しながらも直前を走行する

写真3は
左側通行の
自転車と右
側通行の歩
行者が見通
しの悪い交
差点に接近
し、横断直
前で相手を
認識したも

の、いずれも一時停止しないで相手
の直前を通行しました。このヒヤリ
ハット状況が発生していたにも関わら
ず、後方約10mを通行していた自転車
は、この交差点の直前で一時停止・
周囲確認のいずれも行わずに直進しま
した。